

酒々井町

# 郷土研究会会報

第148号

平成25年4月1日  
酒々井町郷土研究会  
広報部

Ⅱ七草粥を食べる会Ⅱ

## 早春の野草の香りを味わう

酒々井の早春を告げる郷土研究会恒例のイベント「七草粥を食べる会」が、2月15日(金)中央公民館講堂で開催されました。

当日は来賓として小坂町長、橋谷田副町長、濱野生涯学習課長、福田中央公民館長等を迎え、毎年参加し

ているおなじみの方や今回初めてという方など、92名の方々が参加されました。和やかな雰囲気になりました。満足感に溢れた会食になりました。また、今年は珍しいお客様を迎えての会でした。本佐倉城のマスケットキャラクター「勝っタネくん」が参上したのです。マイク片手に「七草ばやし」も一緒に歌ってくれて、会場は賑やかな一時となりました。



### 会計報告

参加者	80名	来賓	12名	計	92名
収入	会費	600円 × 80名	=	48,000円	
	参加費	10,600円		計	58,600円
支出	品代	27,839円			
	諸経費	29,085円		計	56,924円
	残金	1,676円	は	野草部会計へ	

## 「七草粥を食べる会」

を終えて

今年例年に比べ寒さが厳しく、年が明けてから二度の積雪に見舞われたり、そして冷たい雨に打たれたり、そのためか野草の育ちが悪く、小型で摘み草には大変苦勞しました。

こうした状況の中、摘み草の日は曇り空でしたが、風のない穏やかな日となりました。

9人の参加者は、お粥、揚げ物、和え物用にセリ、ナズナ、ハコベ、ゴギョウ、コオニタビラコ、タンポポ、ヨモギなどを摘み、献立に必要な分を何とか確保することができました。



田津谷の墨

来年もこの会が続けられるように、私たちは常日頃の観察や保護に努めて行きたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(野草部)

# 『本佐倉城跡周辺の 史跡と自然展』回顧録(完)

## 千葉氏の人物像

岡田利光 進藤浩一

本佐倉城は築城してから落城するまでの約120年間、9人の城主が城を守った。その9人の人物像をまとめてみました。

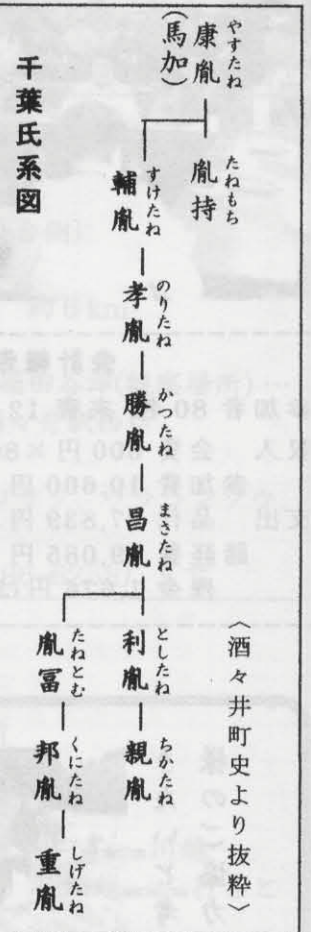
### 一・千葉輔胤

応永28年(1421)〜延徳4年(1492) 72歳没

- ・岩橋殿と称され岩橋城に居住か。
- ・東常縁と下総各地で合戦を繰り返すも勝利をおさめ、市川真間山弘法寺に寺領を安堵する。
- ・長祿3年(1459)38歳で千葉介に。
- ・応仁元年(1467)、焼失した千葉妙見社を再建。また、文明元年(1469)から5年かけて、墨の東伝院など寺を建立する。
- ・文明10年(1478)頃、息子孝胤と本佐倉城を築城する。

### 二・千葉孝胤

嘉吉3年(1443)〜永正2年



(1505) 63歳没

- ・文明3年(1471)頃、父輔胤が出家したため家督を継ぐ。
- ・文明11年(1479)、父の命により白井城を守り、上杉氏の将太田道灌らと戦う。
- ・本佐倉城を父と共に築城して下総支配の拠点とした。
- ・延徳4年(1492)、父が亡くなったため出家、家督は子の勝胤が継いだ。しかし、実権は依然として父孝胤が握っていた。
- ・文龜から永正年間に、古河公方足利政氏が千葉氏を攻撃したが、勝胤とともに本佐倉城を堅守し、和議に持ち込んだ。

### 三・千葉勝胤

文明3年(1471)〜天文2年(1533)年 63歳没

- ・永正2年(1505)、11月、嫡男昌胤の元服式を盛大に行う。

### 四・千葉昌胤

明応4年(1495)〜天文15年(1546) 52歳没

- ・永正2年(1505)、千葉妙見宮で元服する。(11歳)
- ・15歳の時、父が隠居・出家したことに伴い家督を継承したが、実権は依然として勝胤が握っていた。
- ・天文3年(1534)、北条氏依頼の鶴岡八幡宮の修理を行う。
- ・天文7年(1538)、第一次国府台合戦出陣。(里見氏と戦う)

和歌にも深い関心を持ち、一族や直臣らと歌壇を形成し、親交のあった歌人 祐叟 馴憲と永正11年(1514)「雲玉和歌集」を編纂した。

第3代の本佐倉城主として30年間にわたり下総の頂点として君臨、下総千葉氏を確立させた。

永正17年(1520)、足利義明が和良比城(四街道市)を拠点に本佐倉城に攻め込み、これを迎え討つ。

勝胤寺の建立を始め、海隣寺・妙胤寺の建立にも関わり、城下の整備を図る。

五・千葉利胤

・天文12年(1543)、北条氏と上総・笹子城・小弓城占領攻略。

・永正12年(1515)〜天文16年(1547) 33歳没

・大永3年(1523)、元服式を本佐倉城内の妙見宮で行う。

・天文15年(1546)、父の死去により家督を継ぐ。父の時代に結ばれていた北条氏との関係を深めるために、氏康の子女を正室に迎えるが、千葉氏の家中では原胤清ら重臣の反対の意見が強かった。

・同年、河越夜戦では、北条方に味方し参戦する。

・天文16年(1547)3月、千葉妙見社の新築を計画するが、7月に家督を継いでからわずか1年で死去した。

六・千葉親胤

・天文10年(1541)〜弘治3年(1557) 17歳没

・天文16年(1547)、利胤の死去により7歳で家督を継ぐ。

・天文24年(1555)に元服を行うことになったが、同年10月に正木時茂が千葉に攻め込んだために慣例

となっていた11月に開く事が出来ず、同年12月に行われた。

・城域を拡大し、外郭を強化した。幼少のため、補佐役として実権を握っていた原胤清らに不満を抱き、反北条氏側の古河公方足利晴氏と手を結んだため、北条氏康の侵攻を受ける。

・弘治3年(1557)、17歳の時、本佐倉城妙見宮内で家臣により暗殺される。

七・千葉胤富

・大永7年(1527)〜天正7年(1579) 53歳没

・甥の親胤が暗殺されたため、31歳で千葉宗家家督を継ぐ。

・永禄3年(1560)、上杉謙信が11万の大軍を率いて小田原城を攻めたとき、北条氏に援軍を派遣した。

・永禄5年(1562)、北条氏の支援を受けて、正木氏に奪われた白井城や小弓城を奪還する。

・元龜2年(1571)、里見義弘と小弓城で戦う。

・北条氏との関係を深めることで上杉謙信、結城氏や里見氏等の侵攻を撃退。本佐倉城主になって以降は合戦に次ぐ合戦がすべてで、千

葉常胤以来の千葉宗家の誇りを守った勇将と讃えられる。

八・千葉邦胤

・弘治3年(1557)〜天正13年(1585) 29歳没

・正室は北条氏政の娘である。

・元龜2年(1571)、11月に本佐倉城内の佐倉妙見宮において元服式を行う。

・天正10年(1582)、織田信長の関東進出に際して、協力依頼の使者に対し、敢然と拒絶した。

・天正13年(1585)、家臣に恨みを持たれ、城中寢室において暗殺される。

九・千葉重胤

・天正4年(1576)〜寛永10年(1633) 58歳没

・父邦胤が不慮の死を遂げたため10歳の幼年で城主となる(3歳説も)。

・天正13年(1585)、北条氏の人質として母とともに小田原に移る。

・天正18年(1590)に北条氏が滅亡すると、千葉氏も北条氏の与党として所領を没収されたが、幼少のため家康により助命される。

・その後各地を転地し、寛永10年(1633)に江戸で死去したと伝わる。

第37回定期総会の報告

第37回定期総会が1月27日(日)、中央公民館研修室において開催されました。

はじめに岡田利光会長の挨拶、続いて来賓を代表して東條三枝子教育長の挨拶の後、議長に進藤浩一氏が選出され議事に入りました。

まず、平成24年度事業報告と決算報告、続いて平成25年度事業計画及び予算案がそれぞれ審議され、いづれも提案どおり承認されました。

役員改選では、運営委員の留任と会計に久我かず子氏、監事に丸山正



総会では慎重に審議された

義氏が、また、新たな運営委員として木内義治、重昆順二、内村千代美の三氏に委嘱したことがそれぞれ報告され、承認されました。

平成25・26年度役員・運営委員名簿

職名	氏名	電話
会長	岡田 利光	496-0074
副会長	高木 正浩	-2477
	寺本 恵美	-1379
会計	久我かず子	-3102
	(兼)前田 國廣	-6607
監事	執行 正勝	-3147
	丸山 正義	-4562
運営委員		
(総務部)	(兼)白鳥 昭興	-3226
	(兼)石井 康子	-7479
(広報部)	白鳥 昭興	-3226
	木村 雍子	-8341
(研修部)	(兼)進藤 浩一	-0113
	(兼)寺本 恵美	-1379
	桂 啓子	-0230
	(兼)執行 正勝	-3147
	浜口 信義	-1634
	古川 好夫	-1921
	兼輪 光正	-3458
	進藤 浩一	-0113
	前田 國廣	-6607
	重昆 順二	-3011
	木内 義治	-2858
(野草部)	犬島 正子	-6258
	大沢 博	-2731
	石井 康子	-7479
	浅香 征子	-2418
	内村千代美	-6509

平成25年度 事業計画

	事業名	回数	1期			2期			3期			4期		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	定期総会	1	○											
2	会報発行	4	○			○			○			○		
3	講座・学習会	郷土史講座	1						○					
		町内史跡巡り	1			○								
		史談会	8		○	○			○	○	○	○		○
4	研修・見学会	県外見学会	1					○						
		日帰り見学会	2	○								○		
		名勝探訪	4			○			○			○		○
5	野草の会	七草粥を食べる会	1		○									
		野草観察会	2				○				○			
6	役員会・運営委員会	5	○	○				○			○		○	

「名勝探訪」

根津神社から六義園へ

寺本恵美

寒さが身に凍みる朝、車中の暖かい電車で目的地へ、駅を降りると、銀杏の黄色く色づいた葉が、足元でサクサクと、とても気持ちよく感じます。根津神社の大鳥居をくぐり、説明を受けてから参拝をしました。

拝殿、本殿、玉囲いなど、とても色鮮やかです。また屋根には千木、鯉木が無く不思議に思っている、こういう建物もあるとの事、勉強になりました。「紋」も卍で、これは神仏習合の時の名残なのでしょう。目赤不動尊では色英という木があり、地域によっては「かぶと虫の木」ともいうそうで、トゲがありとても長いです。

吉祥寺は八百屋お七の供養碑に一礼して、ご本尊にお参りしました。僧侶の学問所であったとの事で広々として、都内の寺とは思えないくらい静かでした。

六義園では思い思いのコースで庭園を巡りました。松には雪吊りの化粧がしてあり紅葉の赤との調和がと

てもきれいでした。今頃は見学者も多く、柳沢吉保が庭園を一望したという小高い丘は人、人、人でゆっくりは無理で、帰りは裏から出口に向かいました。黄色の紅葉林があり、池との和が神秘的でした。また、いつもはあかずの門が、この時期は正門として開いていました。朝の寒さとは違い、暖かい一日でした。

「日帰り見学会」

寒川神社に初詣

進藤智恵子

1月20日(大寒)、成人の日に降った雪がまだとけていない寒い朝です。寒川神社は、一度は参拝したいと思っていましたので、参加させていただきました。

参加者33名がJR酒々井駅に集合、東京、茅ヶ崎と乗り継いで、途中雪化粧した富士山を眺めながら相模線の宮山駅で下車。駅から歩いて10分程で寒川神社の入口に着きました。

太鼓橋を渡り三の鳥居をくぐって参道を進み、神門に入りました。ここで高木副会長から寒川神社の説明を聞きました。この神社は、相模国一之宮と称される由緒ある神社で、

祭神は二柱の神様「寒川比古命」「寒川比女命」が八方除の神様として知られ、あらゆる方位の災いを除けて健康で幸福な毎日を送れるようにという事で、全国から多くの人が参拝に訪れるという事です。

説明後自由に境内を約1時間散策しました。御祭神を祀りする本殿は立派なたたずまいで、今年も良い年となりますようお祈りをしました。休日とあって参拝、お宮参り、御札、おみやげを買う人、おみくじを引く人が多く、特に本殿で御祈祷してもらった人が長い列をつ

次は、横浜中華街で昼食をとるため宮山駅から電車を乗り継ぎ石川町で下車。ここで岡田会長から自由解散のご挨拶がありました。中華街も人、人、人でいっぱい。皆さん好みのお店を探し、昼食をして満足したようです。食後、私は元町を散策して帰路に着きました。楽しく有意義な一日でした。



大勢の人で賑わう神社の境内

〈七草粥を食べる会〉

七草の美味に感激

堀越邦子

仕事や家事に追われた生活を日々送る中で、四季を感じ取るのが難しくなり、野や道端で見かける野草の変化も車生活ではなかなか見つけることができませぬ。

この微かな自然の変化を味覚や視覚で感じるこの会を大変楽しみにしておりました。

酒々井町で採取した数々の野草、今年はとても寒い日々が続いており、準備も大変ご苦労されたのでないかとお察しいたします。セリ、ナズナ、スズシロ・・・春の七草を使った七草粥は春の香りも楽しめる逸品でした。

また、他のお料理にもたくさんの野草が使われており、味わい深いものばかりでした。特に種付け花の胡麻和えは美味でした。

お料理を更に美味しく感じさせる小物もとても感激いたしました。高木先生の句が書かれた敷物(写真)、献立や七草ばやしがついた箸袋、巳年をイメージしたとても手の込んだ

箸置、愛らしいどんぐりがついた楊枝など。どれも心配りの行き届いた温かいものばかりでした。

七草粥を

食べるとその年は無病息災といわれておりますが、弱った胃腸を助け、食欲を増進するといふ効果の他にも、老化の原因といわれてい

る活性酸素を除去する働きがあると医学的にも報告されているようです。二つの面からも、おいしい健康食を堪能できて本当に幸せなひとときでした。ありがとうございます。末筆ながら、酒々井町郷土研究会の益々のご発展と皆様のご活躍、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。この度はありがとうございます。



〈観察メモ〉

ホトケノザ(シソ科)



年が明けた真冬の日だまりに濃い目のピンクの花が、冬枯れの色のない道端に咲いている景色は、春を待ちわびているようです。細長い唇形の花を次から次へと長い間咲いています。

茎をとり巻くようにつく葉が仏像を安置する「仏座」に似ていることから名づけられています。また、葉が段状につくことから別名をサンガイグサ(三階草)ともいわれています。

春の七草のホトケノザは、コオニタビラコ(キク科)で、これとは別のものです。(野草部)

郷土研究会では会員を募集しています。会員各位におかれましては友人・知人をお誘いください。会費は年額千円です。

見学

案内

県外見学会



小江戸・川越を歩く

5月10日 (金) 小雨決行

川越のシンボル「時の鐘」(写真)は今から400年前、当時の川越藩主・酒井忠勝によって創建されたといわれる。度重なる火災によって焼失し、現在建っているのは4代目といわれる。

今でも30棟残る蔵造りの街並みを歩き、駄菓子屋がひしめく「菓子屋横丁」にはニッキ、ハツカ飴、駄菓子、カルメ焼きと大変懐かしい。

慈覚大師が830年に創建した天台宗の名刹「喜多院」。川越藩の象徴「本丸御殿」。

日本三大東照宮の一つで「仙波東照宮」など散策と買い物をお楽しみください。



名勝探訪

皇居と東京駅周辺を散策

6月5日 (水)

雨天代替日6月7日 (金) 昨年10月に東京駅丸の内駅舎の保存・復元工事が完成。創建当時の姿を見ます。

大手町のビル街の一角にある「将門の首塚」は日本3大怨霊といわれ、広く知られています。

皇居東御苑はかつての江戸城の本丸などがあつた場所、庭園の他、歴史的な史跡を見ます。

三菱一号館は1894年竣工の建物を2010年に忠実に復元させた。建物内部と歴史資料館を見ます。

町内史跡巡り

伊篠・浄泉寺方面

4月14日 (日) 雨天中止

この時季、桜の花も散り木々の芽が膨らんできます。

酒々井町では唯一天井絵のある浄泉寺、また

町指定文化財の石仏や旧成田道の道標等を巡ります。

浄泉寺は千葉氏一族の栗飯原氏が建立した寺で曹洞宗です。本尊は銅造十一面観音坐像 (町指定文化財) です。

松雲寺は浄泉寺の末寺で今は廃寺ですが、浄泉寺の尼寺であったとの伝承もあります。境内には昭和62年に再建されたお堂があり、本尊は阿弥陀如来坐像です。

西蔵院は中川にあり、本尊は地藏菩薩です。中世末期に創建されましたが火災に遭い、現在はコンクリート造りの本堂と薬師堂があります。

郷土研活動日誌

月日	内容	参加者
12.25	会報147号印刷	6
27	七草粥献立会議	7
27	会報147号発送	17
1.10	住民活動団体交流会	1
11	24年度会計監査	6
15	定期総会準備会	15
20	日帰り見学会「寒川神社方面」	33
27	第37回定期総会	40
2.3	史談会 (中世の佐倉)	25
8	さわやかクラブ 歴史講師派遣	3
~14	七草粥 摘草・準備	39
15	七草粥を食べる会	92
17	酒々井町盛年式 (含準備)	7
19	研究会 (テーマ検討)	15
22	研修部会	7
26	運営委員会	17
3.2	史談会 (中世の佐倉)	24
6	名勝探訪「上野・御茶ノ水方面」下見	5
12	名勝探訪「上野・御茶ノ水方面」	30
15	カレッジ自然観察会講師派遣	2
19	研究会 (国府台合戦)	12
	会報148号編集会議 (4回)	22

## 郷土研行事案内

平成25年4月～6月

	4月	5月	6月
史談会	休講	休講	1日(土) 13:30 中央公民館会議室 「中世の佐倉」⑮ 講師：高橋健一先生
町内史跡めぐり	<p>「伊篠・浄泉寺方面」</p> <p>4月14日(日) 雨天中止 集合時刻・場所 9:00 京成宗吾参道駅東口 参加費 100円 ガイド付き 弁当、飲み物、各自持参 歩行距離 約6km</p> <p>コース 宗吾参道駅…浄泉寺…松雲寺…庚申塔…大崎観音堂…大崎自治会館(昼食)… 追分不動道標…西蔵院…築山…水神社・双体道祖神…京成酒々井駅 14:00 解散予定 問合せ 岡田 まで</p>		
野草観察会	<p>「伊篠の堀田谷津方面」</p> <p>4月25日(木) 雨天中止(小雨決行) 集合時刻・場所 9:20 JR酒々井駅西口(中央台側) 参加費 100円 飲み物など各自持参 JR酒々井駅西口 12:00頃解散予定 歩行距離 約6km</p> <p>コース JR酒々井駅西口…岩橋保育園脇…東京学館方面…伊篠堀田谷津(観察場所)… 国道51号コンビニ(トイレ休憩)…伊篠松並木跡…JR酒々井駅西口</p> <p>イカリソウ、ヤマネコノメソウ、オドリコソウ、ジロボウエンゴサク、ウラシマソウ、 ツルカノコソウ、キジムシロ、クサノオウなどが観察できます 当日の問合せ 8:20～8:50 犬島 まで</p>		
県外見学会	<p>「小江戸・川越」</p> <p>5月10日(金) 小雨決行 集合時刻・場所 8:10 京成酒々井駅 改札口前 参加費 100円(交通費各自負担)</p> <p>コース 京成酒々井 〓 日暮里(山手線) 〓 池袋(東武東上線) 〓 川越… (喜多院・時の鐘・駄菓子横丁など自由散策・自由昼食)…川越 〓 行きと 同じコースで京成酒々井駅(17:00頃帰着予定) 当日問合せ 岡田 まで</p>		
名勝探訪	<p>「皇居と東京駅周辺」</p> <p>6月5日(水) 雨天代替日 6月7日(金) 集合時刻・場所 8:10 JR酒々井駅 改札口前 参加費 100円(交通費各自負担)</p> <p>コース JR酒々井駅 〓 東京駅…将門の首塚…東御苑…自由昼食…三菱一号館… 丸ビル4階テラス…東京駅(15:30頃解散予定) 当日問合せ 岡田(496-0074) まで</p>		